

名古屋市公園概要

特250

843



名古屋市役所

昭和十五年四月

始



寺 250
843

目次

○名古屋市の公園 1

名古屋市の公園一覽——街園——準公園——目下工事中又は工事施行準備中の公園各表

○鶴舞公園 6

○中村公園 7

○東山公園 8

○東山植物園 9

○東山動物園 10

○名古屋城 11

○徳川園 12

○街路樹 13

名古屋市公園

公園地は市民の健康、衛生、休養、保安乃至都市の美観上又は市民の情操涵養と謂ふ効果からも現代都市の要求する緊要施設であり、現下社会情勢に於ては空襲時に於ける避難所或は防火壁としても極要なる都市施設である。



現在本市の公園地は三十四ヶ所五十六萬五千八百九十五坪餘を保有し工事中のものを除き開園せる公園は四十三萬二千七百六十二坪餘に達し市民の利用に供せられてゐるが未だ人口一人當り一平方米に過ぎず本市の人口増加と共に他の都市施設の完備と相俟つて相當量の公園の新設擴張の計畫が樹立せられ、運動体育を主とする大規模の運動公園、児童を對照とせる小公園、都市防空を主とする防空公園が實施の途に着き、更に市設公園以外にも區劃整理、耕地整理組合等の新設せる公園が増加しつつあることは喜ばしき事である。



此等公園の他に略同様の機能を有する十四ヶ所の街園が街路の風致を添へ都市美観の小園地として通行者の心を和げてゐる。今其等を表記すれば凡左の通りである。

名古屋市中心公園一覽

昭和十五年四月一日現在

名稱	所在地	面積		施設概要	開園年月日	摘要
		坪數	平方米			
鶴舞公園	昭和區 鶴舞町	七、三二・六六	二、五〇、九三・三〇	公會堂、圖書館、開天閣、美術館、音樂堂、競技場、テニスコート、兒童園	明三、二、一九	
中村公園	中村區 中村町	二四、一七・五五	七、九三・六六	記念館、競技場、野球場、テニスコート、兒童園	大二三、四、一	愛知縣ヨリ移管
東山公園	千種區 田代町	二四、九七・〇〇	八、〇二、四七・九〇	動物園、植物園、眺望臺、ドライブウェイ	昭一〇、四、三	
志賀公園	西區 西志賀町	八、四四・〇〇	二、七、九三・三二	四阿、運動場、兒童園	昭一〇、二、一	西志賀土地區整 組合ヨリ寄附
日吉公園	中村區 下中村町	一、三三・〇五	四、三〇、七・六〇	日吉會館、四阿、兒童遊具	昭一〇、七、二四	名西土地區整 組合ヨリ寄附
下山公園	昭和區 田邊通	一、六七・〇〇	五、五三・一九	四阿	昭一〇、七、一八	下土地區整 組合ヨリ寄附
開道公園	昭和區 松榮町	一、五二・〇〇	三、〇八・一〇		昭一〇、七、一八	下土地區整 組合ヨリ寄附
振甫公園	千種區 振甫町	六四・〇〇	一、九六・八二		昭一一、五、二九	東千種土地區整 組合ヨリ寄附
里山公園	中村區 元中村町	一七六・五〇	五、八三・四七	砂場	昭一〇、二、二	中村土地區整 組合ヨリ寄附
那古野山公園	中區 門前町	二七〇・〇〇	八、二・三六		大二三、二、一四	愛知縣ヨリ移管
庄内公園	西區 稻生町	八、〇七・五七	二、六三・四八	兒童遊具、パーゴラ	昭一二、三、一	元庄内町本市編 入ニヨル
松蔭公園	中川區 下ノ一色町	二、九〇・五四	九、六八・三〇		昭一二、三、一	元下ノ一色町本 市編入ニヨル
上野公園	千種區 鍋屋上野町	一、二四・八〇	四、一五・一三	パーゴラ、兒童遊具	昭一三、四、一〇	鍋屋上野土地區 整組合ヨリ寄附
赤坂公園	千種區 鍋屋上野町	一、八三・六一	六、三九・八七	兒童遊具	昭一三、四、一〇	鍋屋上野土地區 整組合ヨリ寄附
櫻木公園	西區 櫻木町	一、二〇・一八	三、九〇・五二	露壇、藤棚、兒童遊具	昭一三、二、二	市有空地利用
大手公園	港區 熱田前新田	一、三九・〇〇	四、五八・六八	兒童遊具	昭一三、六、一八	中川西土地區整 組合ヨリ寄附

街園

白鳥西公園	熱田區 熱田新田東組	七、三五・二七	二、三九・七五	露壇、兒童遊具	昭一三、二、二	白鳥西土地區整 組合ヨリ寄附
茶ノ木島公園	中村區 米野町	四、三二・三三	一、四二・三〇	兒童遊具	昭一四、二、一〇	名西土地區整 組合ヨリ寄附
西町公園	熱田區 熱田西町	一、二〇・九六	三、六三・五九	兒童遊具	昭一四、二、一〇	西町土地區整 組合ヨリ寄附
南久屋公園	中區 南鍛冶屋町	八、三八・八〇	二、七三・〇〇	兒童遊具	昭一四、三、	市有空地利用
計	二十箇所	三七九、八五五・七二	一、二五五、七三三・三四			

武平町街園	中區 南武平町	四、七九・〇〇	一、五八・三三・四七		昭一五、二	
東新町街園	東區 東新町	八、九〇・〇〇	二、九四・二二		昭一七、三	
鶴舞公園前街園	昭和區 鶴舞町	四、六六・〇〇	一、五三・〇四・九		大一一、四	
丸田町街園	中區 丸田町	八、九〇・〇〇	二、九四・二二		昭一九、三	
松元町街園	中區 松元町	六、〇〇・〇〇	一、九八・三四		昭一九、七	
大津町街園	中區 南外堀町	三、六〇・〇〇	一、一九・〇〇		昭一九、三	
市廳前街園	西區 南外堀町	七、三九・〇〇	二、四九・九二		昭一八、九	
天神山街園	西區 淨心町	二、九〇・五五	九、九〇・〇〇		昭一九、七	
名古屋驛前街園	西區 廣井町	六、九七・七〇	二、三〇・六七		昭一三、五	
泥江町街園	西區 泥江町	一、九〇・六五	六、〇〇・〇〇		昭一三、二	
中村公園前街園	中村區 中村町	一、四三・一八	四、四〇・〇〇		昭一三、一	

合 計	三十四箇所	三六三、三三〇・九一、二六七、一八七・〇〇四	八三、〇四五	昭二、三
堀止街園	中區東陽町	三〇、〇〇〇		昭二、三
彌宜町街園	中區彌宜町	一七、七九〇	五八、一〇〇	昭一、五、三
清水橋街園	東區長堤町	二二、七〇〇	七、〇〇〇	昭一、五、三
計	十四箇所	三、四六六・〇八	一一、四六四・七〇	
計	二十四箇所	三六三、三三〇・九一、二六七、一八七・〇〇四		

準 公 園

名古屋城	西區南外堀町	三、九三〇・六八	一四、三三二・二六	昭六、二、二公開
徳川園	東區徳川町	八、九四三・三四	二九、五七〇・九九	昭七、二、三公開
計		三、九三〇・六八	一四、三三二・二六	
總 計		四六六、三三〇・二二、四一四、〇〇〇・一九		

備 考

市面積ニ對スル公園面積ノ比 〇・〇〇四〇〇一
市人口一人當リ公園面積 一・一五四

目下工事中又は工事施行準備中の公園

事業名	名 稱	所在地	坪 數	平 方 米	豫 定 施 設	備 考
皇太子殿下御降誕記念事業	大幸公園	東區大幸町	六、二九・九三	三〇、三三二・三〇	競技場、野球場	工事中
	松葉公園	中川區四女子町	九、八三・〇〇	三三、四三九・七七	競技場、テニスコート、砂場	都市計畫公園第五號
	八熊公園	中川區八熊町	一、九三六・二九	六、三六七・九〇	徒涉池、砂場、露壇、兒童遊具	
	兒玉公園	西區兒玉町	二、二八五・〇〇	七、八四四・三〇九	兒童園、露壇、水吞場	
	道徳公園	南區豊田町	一〇、八二二・四七	三五、七四三・七五五	競技場、野球場、相撲場、ボート池、テニスコート、兒童園	都市計畫公園第二十四號
	運動公園	昭和三十九年瑞穂町彌富町	四三、三八・五三	一三九、八九六・七七三	競技場、野球場、水泳場、相撲場、テニスコート、馬術場、兒童園	都市計畫公園第十九號
皇太子殿下御降誕記念事業	稻永公園	港區稻永新田	三四、〇〇〇・〇〇	一一三、三九六・八六〇	競技場、野球場、テニスコート、自転車競走路、ボート池、釣池、兒童園	都市計畫公園第一號
		南區笠寺町地内	九、六三三・〇〇	三三、三四二・五二七		工事施行準備中
		港區小碓町地内	三、二二五・〇〇	一〇、七九三・四〇四		
		港區熱田前新田地内	九、一〇七・〇五	三〇、四三九・五四九		
		西區上名古屋町地内	一、四〇〇・〇〇	四、九六八・六八五		汎太博跡
		市中央部	約二、〇〇〇・〇〇	六、六二二・五六〇		
計			一三三、一三一・七七	四四一、一〇九・六七一		

鶴舞公園

本園は本市近代的施設公園開設の嚆矢であり、明治三十八年新堀川改修の掘鑿土を利用し田地を埋立て同四十年竣工、同四十二年十一月十九日鶴舞公園と稱し翌四十四年關西府縣聯合共進會の會場に充てられしを一轉機に諸般の設備を完了し、爾來年々改良工事を施し現在に至る。

市内公園としては面積廣潤にして施設完備、位置良好なる故本市中央公園として最よく利用されてゐる。諸施設中猿面茶屋は日本三茶席の一として著名であり昭和十二年七月國實に指定せらる、開天閣庭園、松月齋、吉田庵、美術館、奏樂堂等は特筆すべきものであり、外に公會堂、圖書館、運動場の諸施設がある。



鶴舞公園噴水塔



中村公園豐國神社

中村公園

本園は豊臣秀吉誕生の地を記念せむがため豊國神社を中心に設立せられた歴史的回遊公園である。

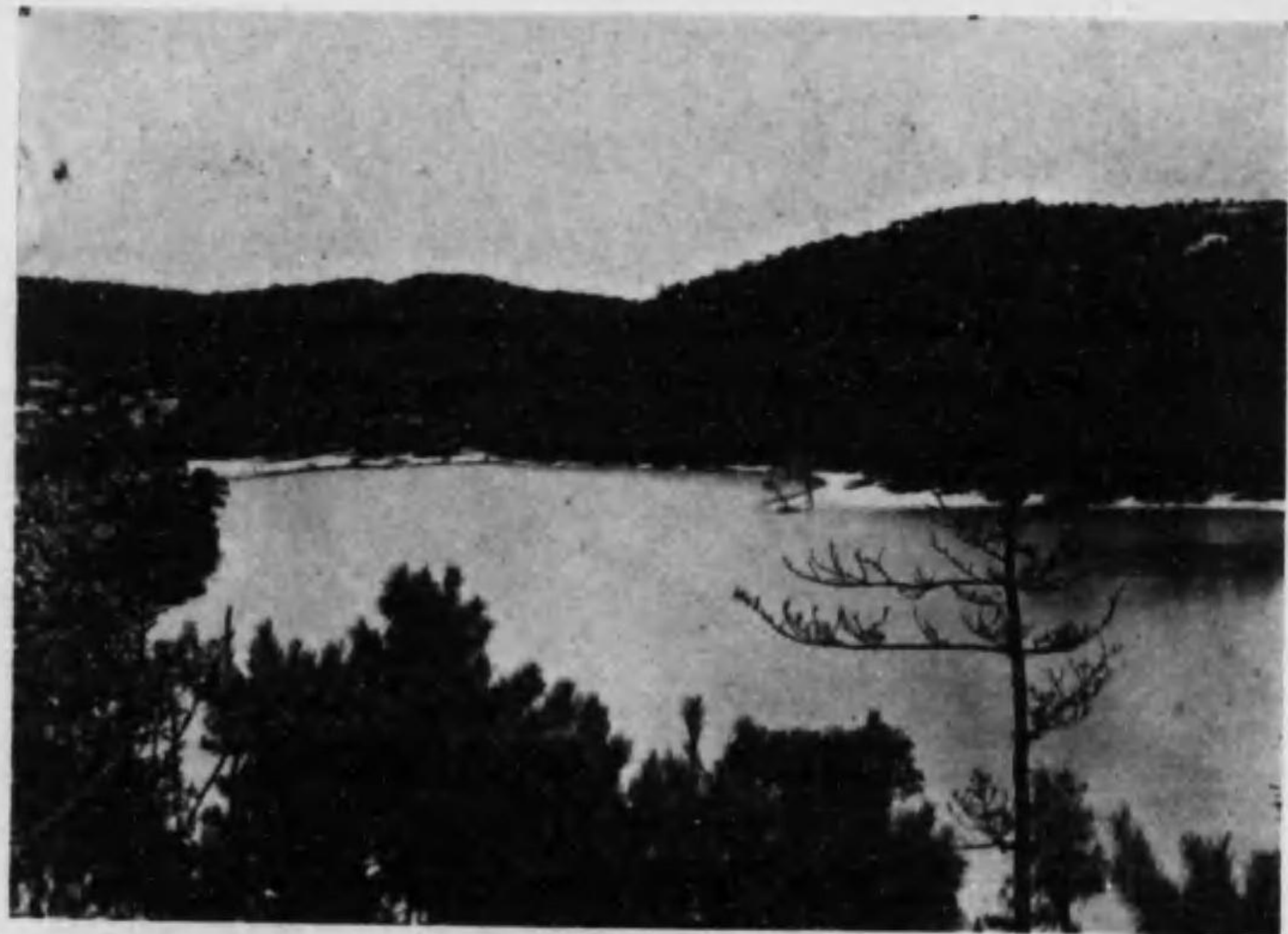
名古屋驛より西方約二軒五の位置にあり、地形は平坦にして神苑、運動場、花壇の三つに分れ豊國神社、記念館を繞りて瓢箪池、蓮池あり、豊公誕生藪の北方に 大正天皇御手植松あり。

之を中心に花壇あり、其の東北方に運動場、兒童園の設備がある。明治三十五年以來本縣所管公園となりしが大正十年此地本市に併合せらるゝや同十二年四月一日本市に移管せられ、現在都市計畫第七號公園として豫定敷地の一部を擴張整備され近代都市公園として面目を一新したのである。

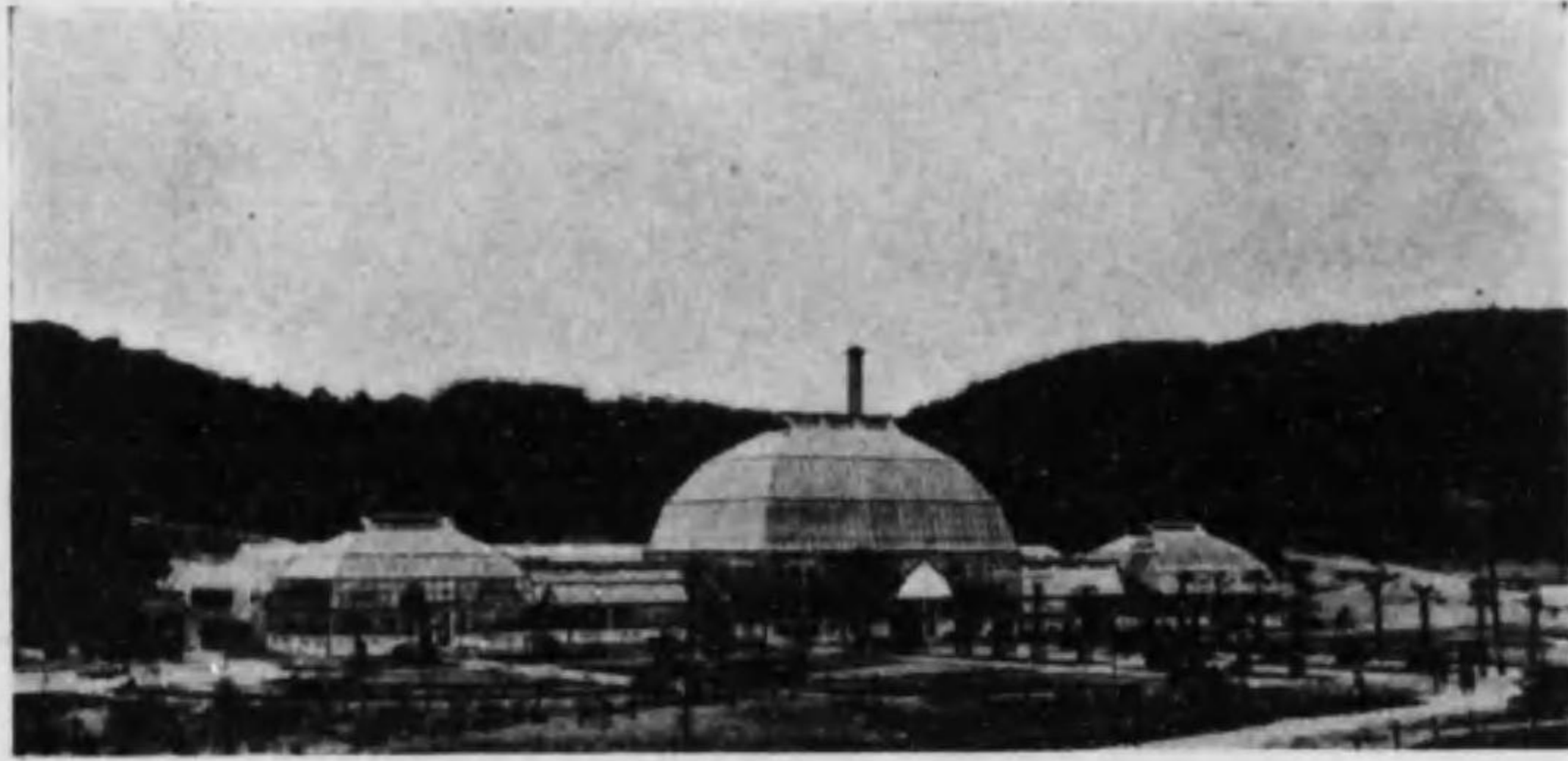
東山公園

本市東郊の覺王山より八事山に跨る丘陵性緑地地帯を活用したる自然公園にして、名古屋市民の誇るべき且恵まれたる緑林公園である。

大正十五年本市都市計畫第十六號公園として内閣の認可、公告ありたるも公園としての施設は急設の可能性乏しき爲、昭和七年六月頃實地踏査を爲し計畫公園地の四分の一に相當する約二十四萬五千坪を整理し之の景勝の地に動植物園を併置せる公園設置の計畫を樹て、之が用地の大部分は關係地主の寄附に仰ぎ昭和九年度に設備工事に着手同年四月三日開園其の名を東山公園と稱し敢て多くの人工を加へず自然公園として市民の行樂に供してゐる。



池上園公山東



室溫園物植

東山植物園

植物園設置の計畫は本市多年の懸案であつたが、東山公園の造成を機会に東邦瓦斯株式會社よりの二十五萬圓の寄附金を財源に充て昭和十二年三月開園を見るに至つた。

大温室

前館、後館の二部に分れ、前館には鑑賞を主とする蘭科類、椰子類、熱帯果樹類、多肉植物其他を、後館には栽培を主とする葡萄類、蔬菜類、花卉類其他を收容してゐる。

植物主要區分園

温室を中心に各種の樹木、草花を植栽せるもので藥草園、有毒植物園、郷土植物園等二十三區に類別し四季を通じ線爛たる花の影に慰樂の機を得せしめんとしたのである。

東山動物園

東山公園内地域約五萬三百坪に壯大なる規模と豪華なる設計とに依り市民遊

覽娛樂を兼ね教育的意義を有する施設として昭和十二年三月二十四日開園、從來鶴舞公園内にありたるものを工費六十餘萬圓を以て移轉新築したものである。

本園は極めて近代的な施設を誇るもので各獸舎は夫々動物に應じてその原産地の風景を模し自然の儘を彷彿せしめ、飼育上からも觀覽上からも最新の設備に努め猛獸の無

柵式放養場等は動物園施設に一新機軸を劃したものである。

昭和十四年度中に於ては入場總人員百三十二萬三千百三十一人、入場料十四萬六千八百八十九圓餘を算した。



動物園大水池禽舎



イワノ放養場



名古屋城天守閣

名古屋城

本城は徳川義直が尾州に封ぜられてから約三百年間尾州侯の居城として傳來し來つたが明治維新後陸軍の管轄となり、明治二十六年に名古屋離宮と定められ爾來屢々陛下の行幸を仰ぎしが昭和五年に至つて畏くも本離宮はこれを廢せられ本市に御下賜の御沙汰があり、本市は同六年二月十一日を以て一般に拜觀及參入を許すことになつた。

天守閣は加藤清正の造營にかゝり、小天守閣を始め諸隅櫓、諸櫓門等と共に桃山時代に於ける城郭建築の最も發達した代表的の遺構である。屋上の金鯱は高さ南方(雌)二米五一北方(雄)二米七八でこれに要した黄金量は慶長小判で一萬七千九百七十五兩と傳へられてゐる。

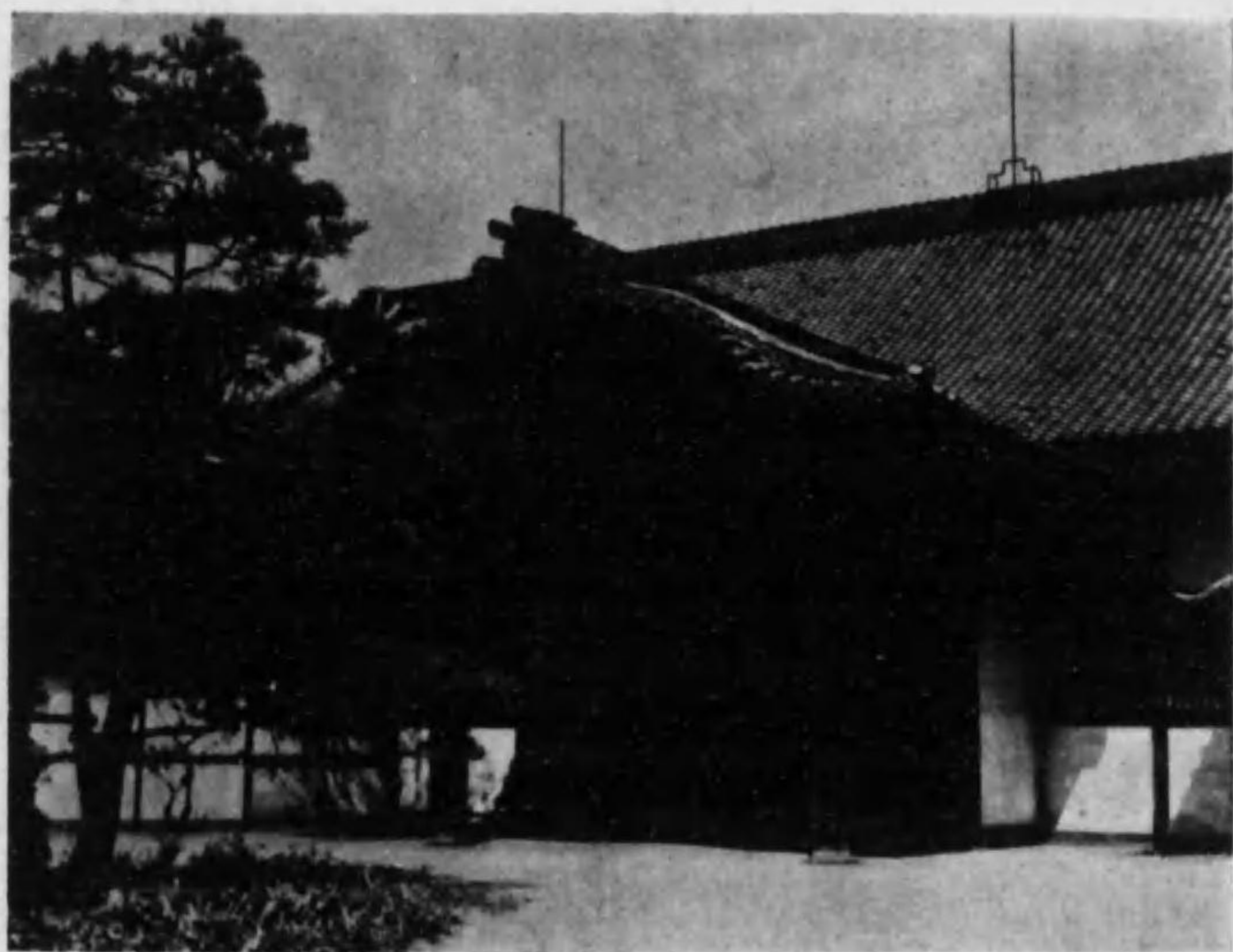
御殿は主として慶長、寛永兩期の經營になり桃山、江戸時代初期に於ける最も華麗な書院造の實例となつてゐる。又上洛殿には宮内大臣の許可を得て玉座を其の儘に保存してある御居間がある。

徳川園

本園は徳川家の邸宅なりしを昭和六年當主義親侯より寄附され爾來本市に於て設備を加へ徳川園と稱して昭和七年十一月三日から一般に公開したものである。

庭園は幽邃閑雅の氣に富み特に園の北部の老樹は原始林さながらの姿を呈し仙境に在るを想はしめる。

園内には建物として本館、清流軒、蘇山莊があり、清流軒は尾州二代光友公當時の建物をその儘移築されたものである。



徳川園



櫻 通

街路樹

公園と共に都市の衛生、美觀上欠くべからざるものに街路樹がある。本市に於ては現在左表の如く一萬八千六百四十九本の街路樹を栽植し尙一路線同種等大のものを逐年増加に努めてゐる。

今其の累進的增加の狀況並樹種別本數を示せば次の通である。

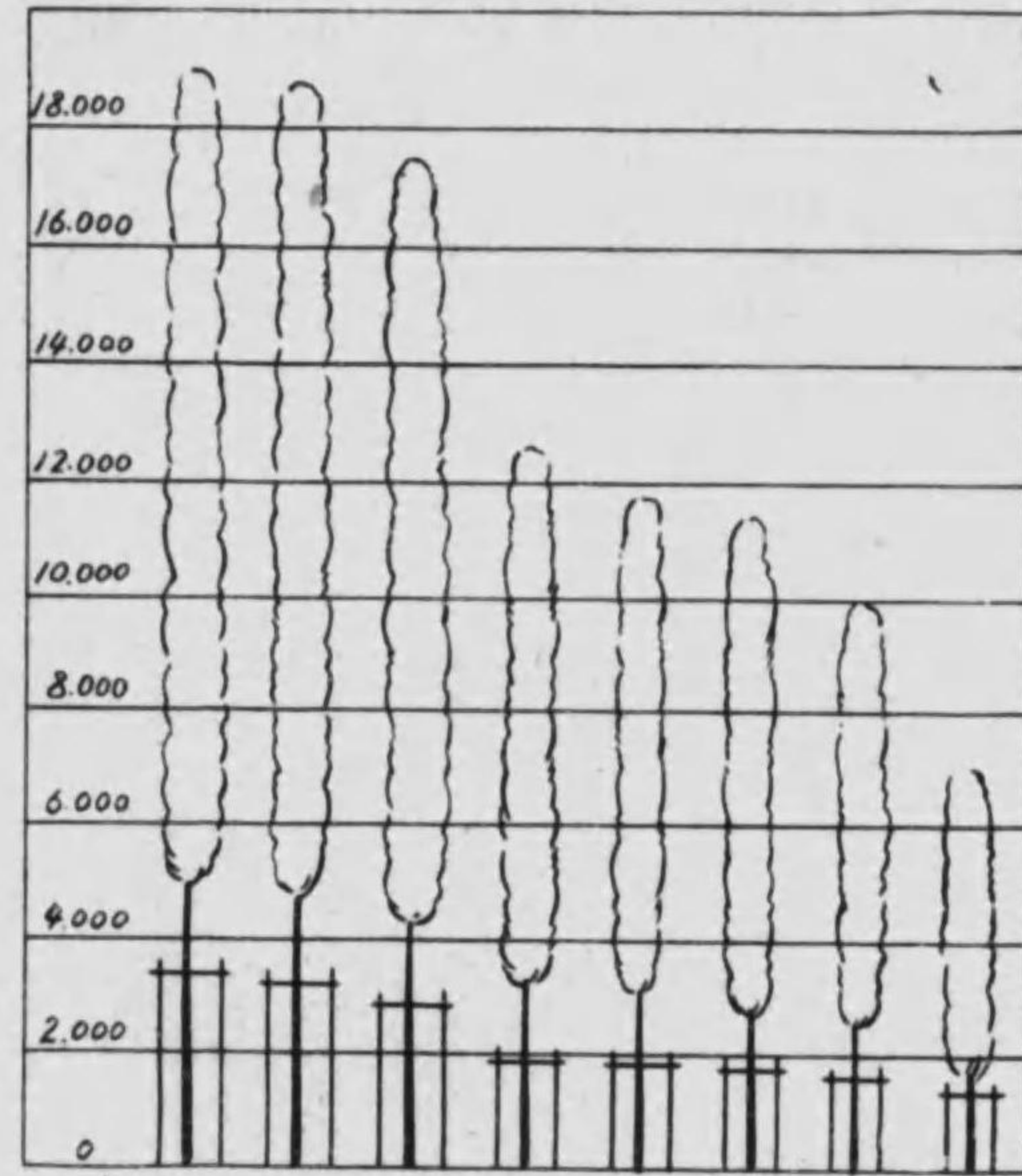


り 通 櫻



線 南 岳 高

昭和八年
九 年
十 年
十 一 年
十 二 年
十 三 年
十 四 年
十 五 年



街路樹の増加状況

本
一八、六四九
一八、三四六
一七、三八六
一二、三六五
一一、六六二
一〇、八〇七
九、七〇二
六、七七八本

403
79



御幸本町通り

街路樹種別本數

昭和十五年四月一日現在

計	ボ ブ ラ	梧 樹	松	櫻 樹	公 孫 樹	其 他	七 葉 樹	三 角 楓	ニ セ ア カ シ ヤ	柳	篠 懸 木
	一八、六四九	二七	三三一	三八七	一、二五〇	四、九六五	三	一四一	六〇五	二、二五〇	八、五七六本

昭和十五年五月一日印刷
昭和十五年五月十日發行

編輯兼 發行者 名古屋市役所

印刷者 名古屋市中區南吳服町二ノ二一
高橋通平

印刷所 名古屋市中區南吳服町二ノ二一
合資會社 高橋成弘社

終

